

## 岸良学園 自分たちで育て、刈り取る

8月10日に、これまで子どもたちが育ててきた稲の稲刈りを実施しました。1～6年生は学校内の田んぼのうるち米を鎌を使って手作業で、7～9年生はお借りしている休耕田のもち米を機械で刈り取りました。4月に田植えをしてから、地域の方々や保護者の協力のもと、草取りや水の調整、イノシシ対策など手塩にかけて育ててきました。お米ができるまでの大変さやここまで育ててきた達成感を味わうことができ、夏休みの素敵な思い出になりました。



うるち米は11月1日の弁当の日に全児童・生徒で味わい、もち米は11月11日の岸良フェスタで販売する予定です。港振興会長の串崎勇様、学校評議員の吉永良行様には、これまで、機材の貸与から子どもたちの見守り、稲の管理と大変お世話になりました。ありがとうございました。



## 高山小学校 本の楽しさに触れて

夏休みの初めの7月25日、緑陰読書会を行いました。校舎1階のワークスペースに、近くの学童保育に通っている子どもたちを含む50人ほどの児童が集まりました。本校保護者で構成される読み聞かせグループ「おはなし🌻モーニング」の皆さんの手遊び歌から始まり、高山中学校の読書ボランティアの皆さんや読書指導部の教員による、工夫をこらした読み聞かせや、クイズ、パネルシアターなどが披露され、本の楽しさに触れる時間になりました。読書の秋がやってきます。いろいろな本に触れてほしいと思います。

## 内之浦小学校 絆を深めた親子工作教室

8月6日に鹿児島県林材協会連合会が主催する「木育」活動の一環として親子工作教室が開催され、8家族21名が参加しました。林材協会の指導者の方からのこぎりやトンカチなどの道具の使い方を教わり、親子で悪戦苦闘しながらマガジンラックや本棚づくりに取り組みました。

完成後には親子で一つの工作物を作り上げた喜びや達成感をかち合っていました。夏休みの良き思い出になったことと思います。



## 国見中学校 自分と大切な人を守るために

7月11日、2年生を対象にメンタルヘルス教室を実施しました。町保健師の方と本校のスクールカウンセラーの方が「自分と大切な人を守るために」と題して講話を行いました。

ストレスや悩みによって心が苦しいときは、自分と相手を大事にして不安やつらさを自分一人で抱え込まないようにすることの大切さを学びました。

講話の中で出た「だれにでもこころが苦しいときがある」「どんなに苦しくても必ず終わりがある」という気持ちをもって、「だれかに相談する勇気」を忘れずに生活していきたいと思います。